

## 京都府水道事業広域的連携等推進協議会（南部圏域）第1回幹事会開催結果

### 1. 日時

令和2年1月22日（水曜日）午前10時から12時

### 2. 場所

京都市大学のまち交流センター（キャンパスプラザ京都）第1会議室

### 3. 出席者

南部圏域の水道事業者及び京都府（別添名簿のとおり）

### 4. 概要

#### （1）京都府水道事業広域的連携等推進協議会の設置、運営について

- 事務局（府公営企画課）から本協議会の設置等について説明。

#### （2）水道事業の将来の方向性について

- 圏域内における水道事業の将来の方向性について意見交換を行ったところ、水道事業の広域連携等について水道事業者ごとにその内容や時期を慎重に見極める必要があるものの、将来にわたり安定的に水道事業を運営するためには、市町村の区域を越えた広域連携等に係る検討は不可避であるとの認識が共有された。
- 広域連携等に係る検討の進め方として、各水道事業者が抱える共通課題（人材確保・育成など）への取組を一つひとつ具体的に研究し、その効果と課題を明らかにしていくべきとの意見が多くあった一方で、水道事業の統合や企業団化も検討項目として排除すべきではないとの意見があった。
- その他、次のような発言があった。
  - 府営水道を軸とする広域連携等や、広域連携等の効果を明らかにするためのシミュレーションの実施など、府に広域連携等の推進役を期待している。
  - 広域連携等のメリット、デメリットを明らかにし、住民や議会の理解を得て進める必要がある。
  - 水道事業体間での情報共有を進めることで、広域連携等に係る良いアイデアが出るのではないかと。
  - 広域連携等の実現には長期間に渡って様々な課題を解決していく必要があるため、首長レベルでの合意形成など、水道事業部門を超える大きな枠組みでの承認を得ることが必要ではないかと。

#### （3）広域連携等の取組について

- 事務局から次のテーマに係る研究会の設置について報告。
  - 水道事業及び広域連携等の各種情報の整理・分析
  - 水道事業に係る各種業務の共同化

## 京都府水道事業広域的連携等推進協議会（南部圏域）第1回幹事会開催結果

### ➤ 中小規模の水道事業者の人材確保育成や技術継承の仕組みづくり

- 『中小規模の水道事業者の人材確保・育成や技術継承の仕組みづくり』について、研究メンバーの井手町から進捗状況と、夏頃を目途に研究結果を取りまとめ当幹事会に報告するとしたスケジュール等の報告があった。

### (4) その他

- 事務局から府内先進事例について報告。
- 府山城広域振興局長、府自治振興課及び府企画参事から、府民環境部と連携し、各々の立場から、圏域における水道事業の広域連携等を支援していくとの発言があった。